

久美浜海岸 海岸侵食対策事業 (京丹後市久美浜町湊宮)

久美浜海岸は、丹後半島の西側に位置し、雄大な砂浜と砂丘に加え小天橋と呼ばれる砂州が美しい景観を創る府内有数の海水浴場であり、背後地には絶滅危惧種「トウテイラン」が繁殖する自然豊かな海岸です。しかし、近年汀線の後退が著しく、冬季波浪時は高波による大規模な侵食が発生し、背後地の道路、人家等にも甚大な被害を及ぼす恐れがあります。

当海岸は山陰海岸国立公園にも位置付けられていることから、良好な海岸の保全と一層の利用促進を図るため、人工リーフの整備を行うことにより砂浜を安定させ、安全で美しい景観の海岸を保全します。

平成21年度は、人工リーフ設置（11、13リーフ完成）、測量等を実施します。

◎事業概要

全体計画	H20までの実績	H21計画
事業期間：H5～H35 事業延長：4,698m 事業概要：人工リーフ11基 総事業費：約4,200百万円	事業概要：人工リーフ8.7基 （暫定断面または延長による実施） 事業費：2,482百万円	事業概要：人工リーフ0.3基 （延長65m+70m =135m） 事業費：165百万円

◎事業効果

- 海水浴など海岸の利用度の向上が図れます。
- 砂浜を維持、回復させ、美しい景観を保全します。
- 人工リーフが魚礁効果を発揮します。

位置図・写真

